

中長期目標

計画策定時の目標と取り組み

- ・ 脳血管疾患の新規発症の減少
- ・ 虚血性心疾患の新規発症の減少
- ・ 糖尿病性腎症による人工透析新規導入の減少

中間評価時の実績と課題

- ・ 脳血管疾患の新規発症の減少

	H30	R1	R2
実績	1.5%	1.5%	集計中
- ・ 虚血性心疾患の新規発症の減少

	H30	R1	R2
実績	1.5%	1.4%	集計中
- ・ 糖尿病性腎症による人工透析新規導入の減少

	H30	R1	R2
実績	12人	6人	集計中
- ・ 脳血管疾患の医療費の減少

	H30	R1	R2
実績	1.28%	1.28%	集計中
- ・ 虚血性心疾患の医療費の減少

	H30	R1	R2
実績	1.05%	0.97%	集計中

新たな目標値と取り組み

- ・ 脳血管疾患の新規発症の減少

	R2	R3	R4	R5
目標	1.5%未満			
- ・ 虚血性心疾患の新規発症の減少

	R2	R3	R4	R5
目標	1.4%未満			
- ・ 糖尿病性腎症による人工透析新規導入の減少

	R2	R3	R4	R5
目標	5人未満			
- ・ 脳血管疾患の医療費の減少

	R2	R3	R4	R5
目標	1.28%未満			
- ・ 虚血性心疾患の医療費の減少

	R2	R3	R4	R5
目標	0.97%未満			

短期目標

・ 特定健診の受診率向上

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標	40%	45%	50%	54%	57%	60%

◆ 特定健診受診率向上のための取り組み

- ・ 集団健診の継続実施
- ・ 医師会との連携による個別健診受診率向上
- ・ 国保新規加入者への周知・啓発
- ・ 人間ドックデータ活用事業の実施

ア 特定健診未受診者対策

- ・ 健診受診状況、医療の受診状況等を活用した個々の実態に応じた勧奨

・ 特定保健指導の実施率向上

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標	62%	63%	63%	64%	64%	65%

◆ 特定保健指導の実施率向上に向けた取り組み

- ・ 積極的支援対象者に対する柔軟な運用による特定保健指導のモデル実施の導入の検討
- ・ 健診当日の初回面接実施
- ・ 個別訪問による保健指導の実施

・ 糖尿病の者の割合の減少

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標	4.5%	4.5%	4.0%	4.0%	3.5%	3.5%

ア 生活習慣病の発症予防

- ・ 特定健診受診勧奨、健康相談会、生活習慣病予防教室、ルック講座、広報紙による啓発、個人へのインセンティブの提供等

・ 高血圧の者の割合の減少

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標	4.0%	4.0%	3.5%	3.5%	3.0%	3.0%

ア 糖尿病・高血圧等生活習慣病の重症化予防

- ・ 特定健診結果ハイリスク者・生活習慣病治療中断者への医療機関と連携した指導（個別訪問、電話、郵送等による受診勧奨、保健指導）

イ 糖尿病性腎症重症化予防

- ・ 糖尿病性腎症による透析導入リスクが高い者への医療機関と連携した指導（個別訪問、電話、郵送等による受診勧奨、保健指導）

・ 脂質異常の者の割合の減少

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標	12%	12%	11%	11%	10%	10%

ア 糖尿病・高血圧等生活習慣病の重症化予防

- ・ 特定健診結果ハイリスク者・生活習慣病治療中断者への医療機関と連携した指導（個別訪問、電話、郵送等による受診勧奨、保健指導）

イ 糖尿病性腎症重症化予防

- ・ 糖尿病性腎症による透析導入リスクが高い者への医療機関と連携した指導（個別訪問、電話、郵送等による受診勧奨、保健指導）

・ レセプト点検効果率の維持・向上

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%

ア 重複・頻回受診者、重複服薬者対策

イ レセプト点検の充実・強化

ウ 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進

エ 第三者求償の取り組み強化

オ 健康教育の実施

・ 特定健診の受診率向上

	H30	R1	R2
目標	40%	45%	50%
実績	36.2%	37.7%	集計中

・ 受診率は向上しているが目標値に達していない。R2年度は感染対策として集団健診の定員を減らしており、受診率の低下が見込まれる。個別健診受診者の割合が低いため、かかりつけ医との連携を強化し個別健診受診を促す必要がある。また受診券についても送付方法等を見直す必要がある。

・ 継続受診率は約7割だが、不定期受診が微増傾向にある。年代別では40～50代の受診率が低い。これらを含め、勧奨通知の内容を見直すなどして継続受診及び40～50代の受診率向上に向けて取り組む必要がある。

・ 特定保健指導の実施率向上

	H30	R1	R2
目標	62%	63%	63%
実績	63.9%	67.7%	集計中

・ 特定保健指導の実施率については、令和元年度の目標値である63%を達成しているが、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合は増加しているため、メタボ改善に向けた指導を強化する必要がある。

・ 特定保健指導対象者の減少率（前年度比）

	H30	R1	R2
実績	17.7%	16.7%	集計中

・ 特定保健指導の実施率については、令和元年度の目標値である63%を達成しているが、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合は増加しているため、メタボ改善に向けた指導を強化する必要がある。

・ メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合

	H30	R1	R2
実績	24.5%	26.0%	集計中

・ データヘルス計画における対象疾患（脳血管疾患・虚血性心疾患・慢性腎不全（人口透析）・糖尿病・高血圧・脂質異常症）の医療費が総額に占める割合は減少傾向にあり、脳血管疾患・虚血性心疾患の新規患者数の割合も同様の傾向がみられる。しかしながら、健診受診者の有所見者の割合は増加傾向にあるため、重症化予防のハイリスクアプローチを強化するとともに、生活習慣病予防教室や健康イベントでの啓発など多岐にわたるアプローチも継続して実施していく必要がある。

・ 糖尿病の者の割合の減少

	H30	R1	R2
目標	4.5%	4.5%	4.0%
実績	4.8%	5.4%	集計中

・ データヘルス計画における対象疾患（脳血管疾患・虚血性心疾患・慢性腎不全（人口透析）・糖尿病・高血圧・脂質異常症）の医療費が総額に占める割合は減少傾向にあり、脳血管疾患・虚血性心疾患の新規患者数の割合も同様の傾向がみられる。しかしながら、健診受診者の有所見者の割合は増加傾向にあるため、重症化予防のハイリスクアプローチを強化するとともに、生活習慣病予防教室や健康イベントでの啓発など多岐にわたるアプローチも継続して実施していく必要がある。

・ 高血圧の者の割合の減少

	H30	R1	R2
目標	4.0%	4.0%	3.5%
実績	4.3%	4.8%	集計中

・ 人工透析患者数は被保険者数で見ると、県平均よりも低い。令和元年度の新規透析患者8人のうち6人が糖尿病、3人が糖尿病性腎症の診断があり、糖尿病の重症化を防ぐことが新規人工透析患者数の抑制にもつながることから、今後もしっかりと連携し、糖尿病性腎症重症化予防事業に取り組んでいく。

・ 脂質異常の者の割合の減少

	H30	R1	R2
目標	12%	12%	11%
実績	16.4%	15.9%	集計中

・ 人工透析患者数は被保険者数で見ると、県平均よりも低い。令和元年度の新規透析患者8人のうち6人が糖尿病、3人が糖尿病性腎症の診断があり、糖尿病の重症化を防ぐことが新規人工透析患者数の抑制にもつながることから、今後もしっかりと連携し、糖尿病性腎症重症化予防事業に取り組んでいく。

・ 健診受診者のHbA1c8.0以上の未治療者の割合の減少

	H30	R1	R2
実績	0.37%	0.60%	集計中

・ 人工透析患者数は被保険者数で見ると、県平均よりも低い。令和元年度の新規透析患者8人のうち6人が糖尿病、3人が糖尿病性腎症の診断があり、糖尿病の重症化を防ぐことが新規人工透析患者数の抑制にもつながることから、今後もしっかりと連携し、糖尿病性腎症重症化予防事業に取り組んでいく。

・ 健診結果からみた糖尿病性腎症第3期以降の未治療者の減少

	H30	R1	R2
実績	5人	6人	集計中

・ 人工透析患者数は被保険者数で見ると、県平均よりも低い。令和元年度の新規透析患者8人のうち6人が糖尿病、3人が糖尿病性腎症の診断があり、糖尿病の重症化を防ぐことが新規人工透析患者数の抑制にもつながることから、今後もしっかりと連携し、糖尿病性腎症重症化予防事業に取り組んでいく。

・ レセプト点検効果率の維持・向上

	H30	R1	R2
目標	0.4%	0.4%	0.4%
実績	0.35%	0.29%	0.41%

※R2は10月末現在

・ 適正服薬を促すため、重複・多剤服薬者についても訪問指導が必要。

・ ジェネリック医薬品の普及率は頭打ちの状態であり、さらなる普及率向上のため、新たな取り組みが求められる。

・ 健康・医療講演会の開催については、感染状況により判断する。

・ 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の普及率向上

	H30	R1	R2
目標	77%	80%	80%
実績	78.4%	76.1%	78.5%

※R2は10月末現在

・ 適正服薬を促すため、重複・多剤服薬者についても訪問指導が必要。

・ ジェネリック医薬品の普及率は頭打ちの状態であり、さらなる普及率向上のため、新たな取り組みが求められる。

・ 健康・医療講演会の開催については、感染状況により判断する。

・ 特定健診の受診率向上

	R2	R3	R4	R5
目標	50%	54%	57%	60%

◆ 特定健診受診率向上のための取り組み

- ・ 集団健診の継続実施
- ・ 医師会との連携による個別健診受診率向上
- ・ 国保新規加入者への周知・啓発
- ・ 人間ドックデータ活用事業の実施
- ・ 40歳になる者への周知・啓発の検討

ア 特定健診未受診者対策

- ・ 健診受診状況、医療の受診状況等を活用した個々の実態に応じた勧奨

・ 特定保健指導の実施率向上

	R2	R3	R4	R5
目標	68%	69%	69%	70%

◆ 特定保健指導の実施率向上に向けた取り組み

- ・ 積極的支援対象者に対する柔軟な運用による特定保健指導のモデル実施の導入の検討
- ・ 健診当日の初回面接実施
- ・ 個別訪問による保健指導の実施
- ・ オンライン面談の実施検討

・ 特定保健指導対象者の減少率（前年度比）

	R2	R3	R4	R5
目標	19.7%以上			

・ 積極的支援対象者に対する柔軟な運用による特定保健指導のモデル実施の導入の検討

・ 健診当日の初回面接実施

・ 個別訪問による保健指導の実施

・ オンライン面談の実施検討

・ メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合

	R2	R3	R4	R5
目標	24.5%未満			

・ 積極的支援対象者に対する柔軟な運用による特定保健指導のモデル実施の導入の検討

・ 健診当日の初回面接実施

・ 個別訪問による保健指導の実施

・ オンライン面談の実施検討

・ 糖尿病の者の割合の減少

	R2	R3	R4	R5
目標	4.0%	4.0%	3.5%	3.5%

ア 生活習慣病の発症予防

- ・ 特定健診受診勧奨、健康相談、生活習慣病予防教室、ルック講座、広報紙による啓発
- ・ 「ふくおか健康ポイントアプリ」の活用推進

・ 高血圧の者の割合の減少

	R2	R3	R4	R5
目標	3.5%	3.5%	3.0%	3.0%

ア 生活習慣病の発症予防

- ・ 特定健診受診勧奨、健康相談、生活習慣病予防教室、ルック講座、広報紙による啓発
- ・ 「ふくおか健康ポイントアプリ」の活用推進

・ 脂質異常の者の割合の減少

	R2	R3	R4	R5
目標	11%	11%	10%	10%

ア 糖尿病・高血圧等生活習慣病の重症化予防

- ・ 特定健診結果ハイリスク者・生活習慣病治療中断者への医療機関と連携した指導（個別訪問、電話、郵送等による受診勧奨、保健指導）

イ 糖尿病性腎症重症化予防

- ・ 糖尿病性腎症による透析導入リスクが高い者への医療機関と連携した指導（個別訪問、電話、郵送等による受診勧奨、保健指導）

・ 健診受診者のHbA1c8.0以上の未治療者の割合の減少

	R2	R3	R4	R5
目標	0.37%未満			

ア 糖尿病・高血圧等生活習慣病の重症化予防

- ・ 特定健診結果ハイリスク者・生活習慣病治療中断者への医療機関と連携した指導（個別訪問、電話、郵送等による受診勧奨、保健指導）

イ 糖尿病性腎症重症化予防

- ・ 糖尿病性腎症による透析導入リスクが高い者への医療機関と連携した指導（個別訪問、電話、郵送等による受診勧奨、保健指導）

・ 健診結果からみた糖尿病性腎症第3期以降の未治療者の減少

	R2	R3	R4	R5
目標	3人未満			

ア 糖尿病・高血圧等生活習慣病の重症化予防

- ・ 特定健診結果ハイリスク者・生活習慣病治療中断者への医療機関と連携した指導（個別訪問、電話、郵送等による受診勧奨、保健指導）

イ 糖尿病性腎症重症化予防

- ・ 糖尿病性腎症による透析導入リスクが高い者への医療機関と連携した指導（個別訪問、電話、郵送等による受診勧奨、保健指導）

・ レセプト点検効果率の維持・向上

	R2	R3	R4	R5
目標	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%

ア 重複・頻回受診者、重複服薬者対策

イ レセプト点検の充実・強化

ウ 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進

エ 第三者求償の取り組み強化

オ 健康教育の実施